

**第 6 回草津市総合計画特別委員会における
主な意見とその対応について**

○は委員会での意見・対応

→は委員会後の意見・対応

頁	主な意見	対応
【(1) 基本構想(案)について】		
P24 P25	将来ビジョンのイラストについて、高齢者や障害者の方を加えるなど、工夫してはどうか。	○検討します。 → <u>イラストを修正しました。</u>
P24 P25	「健幸創造都市」の「創造」に込めた意味は何か。	○市民、行政、地域や団体等のあらゆる主体が共に健幸を創り続けていくという思いを「創造」で表現しております。
P24 P25	「創造」には、新たな価値を創り出すなどの意味があるが、その言葉のとおり、「果敢に挑戦する」ということを意識していただきたい。	
P24 P25	将来ビジョンのキャッチフレーズについて、中堅職員への意見照会の提案などを参考にしていると思うが、審議会ではキャッチフレーズについてどのような議論がなされているのか。	○審議会には、まだキャッチフレーズについては示していないが、これまでの将来ビジョンの検討資料の中で示した内容については、御了承いただいております。
P24 P25	このキャッチフレーズは誰への投げかけか。また、覚えていただくには長いので、もう少し圧縮してはどうか。	○本市に関わるすべての人へ向けてのキャッチフレーズです。庁内でも同様の意見があったことから、副題の長さについて検討します。 → <u>副題を修正しました。</u>
P24 P25	ページが見開きになっていることから、「健幸」と「創造都市」の間にスペースがあり、「健幸創造都市」の見え方が「健幸 創造都市」に見える。意図と違う捉え方をされるおそれもあるため、見せ方について、検討いただきたい。	○製本段階において、御意見を参考にレイアウトを検討させていただきます。
P24 P25	将来ビジョンで「健幸創造都市」を使っている自治体は他にないのか。ないのであれば、「健幸創造都市」のフレーズはともよいと思う。	○確認した中では、「健幸創造都市」を使用している自治体はありませんでした。
P27	湖岸レクリエーション軸について、「歴史文化を生かして」などの記載を加えてはどうか。	○検討します。 → <u>湖岸レクリエーション軸の湖岸道路沿道では、全体を見渡したときに、自然環境を大きな特徴として捉えています。</u> <u>「歴史文化」の活用も重要な視点になりますので、御意見の内容については、P26の「湖岸・農業・再生ゾーン」の中で追記しました。</u>

頁	主な意見	対応
P29 ～	P29に「SDGs」の視点をまとめているが、P30以降のまちづくりの基本目標ごとについても、例えば、SDGsマークを記載するなど、「SDGs」の視点を踏まえたまちづくりを進めていくことが伝わりやすくなるよう工夫してはどうか。	○検討します。 →御意見のとおり、各分野にSDGsのマークを記載することで、SDGsの視点が盛り込まれ、とてもわかりやすくなるかと考えておりますが、各期の基本計画において、新規の基本方針や施策が位置付けられ、SDGsの目標の数が変わる可能性もありますので、基本構想ではなく、各期の基本計画の中でSDGsのマークを記載させていただきます。なお、御意見を踏まえ、「SDGs」の視点を踏まえたまちづくりを進めていくことが伝わりやすくなるようP29の「SDGs」の記載を修正しました。
P31	歴史・文化について、「草津のサンヤレ踊り」などの記載ができないか。	○検討します。 →歴史・文化の記載については、分野の取組の方向性としての内容をまとめておりますので、「草津のサンヤレ踊り」など、個々の例示を示すことはせず、原案のとおりとさせていただきます。
P30	人権の中に「共生社会の実現」の記載が消えているが、共生社会の考え方は必要ではないか。	○検討します。 →修正しました。
P30	「人生100年時代を見据えながら」と追記いただいたところであるが、「大人と子どもが共に学びあい」の記載によって後退した印象を受ける。「すべての人に開かれた教育機会の確保や学び直し・リカレント教育」などの視点の記載をしてはどうか。	○「大人と子どもが共に学びあい」については、地域協働合校の視点が抜けているとの指摘があり追記したところですが、書きぶりについては、再度、検討します。 →修正しました。
P30	「人生100年時代」と「地域協働合校」の文章を整理していただきたい。	○検討します。 →修正しました。
P32	「多様性で繋がる」は文章として正しいか。「多様に繋がる」もしくは「多様な人々が繋がる」ではないか。	○修正します。 →修正しました。
【(2) 第1期基本計画について】		
—	総合戦略を包含するとのことだが、どのように示すのか。現在のように分野横断的な戦略であるという考え方なのか。	○分野横断的な施策を示すなど、現在の総合戦略をベースとして考えておりますが、具体的な内容については、今後検討します。
—	総合戦略を総合計画に包含した場合、人口ビジョンはどうするのか。	○総合計画の人口推計を人口ビジョンに置き換えていく形で検討しております。

頁	主な意見	対応
ー	草津市は地の利を生かして人口が増加していることもあり、人口減少に対する危機感があまりないため、人口に対する問題意識が芽生えるような記載のされ方を検討いただきたい。また、国が示している分野横断的な目標の扱いについて、今後検討いただく必要があると思われる。	○第6次総合計画の計画期間に人口減少局面を迎える見込みであり、少子高齢化・人口減少対策などの地方創生の取組を進めていくことは重要であると考えております。第6次総合計画では、総合計画に総合戦略を包含し、少子高齢化・人口減少対策などの地方創生の取組をより効果的に推進してまいります。なお具体的な記載については今後検討します。
ー	行財政マネジメントをわけるのか。また、なぜ位置づけを変えたのか。	○分野として設定することで、他の分野と同じように成果や課題をわかりやすく整理できることから、位置づけを変更した。
ー	これからは多様性の考え方が重要である。ダイバーシティなどの横文字は市民の方にわかりにくいいため、多様性といった表現をするとよいと思う。	○市民と考えを共有できるわかりやすい表現を心がけたいと考えております。
ー	基本計画の中で、草津市にとっての「地方創生」とは何かを定義いただきたい。	○今後、計画策定の中で検討します。
ー	挑戦の考え方は「地方創生」の中に含まれていると考えて良いか。	○「地方創生」の章をはじめ、基本計画の中で挑戦するという姿勢を示したいと考えております。
ー	「計画期間終了後に期末評価を行います」とあるが、それでは評価と次期計画の策定とのずれが生じるが、その差を埋めるような手法を検討されたい。	○今後、計画策定の中で検討します。
ー	リーディングプロジェクトについて、第5次総合計画と同じ考え方なのか。	○第5次総合計画の第3期基本計画の形をベースに考えておりますが、具体的な内容については、今後、検討します。
ー	基本構想はデータの記載が多いが、基本計画においてもデータを用いた分析や記載をする予定はあるのか。	○細かいデータや分析については個別計画の中で記載をしていますので、基本計画での個別具体的な記載は考えておりません。